令和二年度 市勢功労表彰

本年度の市勢功労表彰の被表彰者と地域振興功労感謝状の被贈呈者が決まりました。市勢功労には2人2団体、地域振興功労には1人の方が選ばれました。それぞれの分野で市勢の発展に貢献された皆さんには、1月15日に市役所本庁で表彰状・感謝状が贈られます。おめでとうございます。

特別功労

水沢駒形野球倶楽部
（及川 富美人 部長）

大正9年の発足以来、100年の歴史を誇る野球倶楽部です。全日本クラブ選手権大会には昭和55年に出場以来、全国歴代2位となる23度の出場回数を数えるほか、少年野球教室の開催に積極的に取り組むなど、野球を通じて地域の発展に貢献されています。

メロディージャックス
（髙野 司 代表）

昭和45年に結成以来、半世紀にわたり「音の和・人の和」をモットーに、地域に根差した楽団として活動されています。市合併記念式典、奥州市民☆文士劇のほか、地域のまつりや福祉施設などでも演奏を行い、市民へ音楽の魅力を届け、文化を通じた地域振興に貢献されています。

地方自治功労

及川 恭志（やすし） さん（71）
＝水沢羽田町宝生＝

平成16年4月から16年間、行政区長を務められました。うち、25年4月から4年間は、水沢区行政区長協議会理事を務められ、地域と行政の橋渡し役として活躍されました。

地方自治功労

小原 里司（さとし） さん（79）
＝衣川古戸＝

昭和60年から34年間、交通指導員を務められました。うち、平成18年4月から14年間は市交通指導隊隊長を務められ、地域の交通安全の指導や交通安全思想の普及に貢献されました。

令和二年度 地域振興功労感謝状贈呈

白山地区振興会 前会長

鈴木 秀悦（ひでえつ） さん（78）
＝前沢白山字保志場＝

平成22年4月に白山地区振興会長に就任して以来、令和2年5月の退任まで10年以上にわたり、地域コミュニティの先頭に立ち、協働のまちづくりを担うリーダーとして地域自治の推進に尽力されました。

令和3年新年交賀会開催中止について

例年開催している市民新年交賀会と各地域新年交賀会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、開催を中止します。

■問い合わせ＝本庁総務課秘書係（☎34-2190）

｜特集｜ 地域おこし協力隊 座談会

5人が感じた奥州を多くの人に

奥州市が誕生して15年を迎えます。人口減少が進む厳しい環境の中、地域を持続的に発展させるためには、市の魅力を高め市内外に発信し、ヒト・モノ・カネといった資源を地域内で循環させ、また呼び込むことが重要です。この特集では「スポーツ」「観光」「食と農」それぞれの分野で市をPRする活動をしている地域おこし協力隊の5人に、「奥州市の魅力は何か」「その魅力の発信方法は」をテーマにトークを繰り広げてもらいました。

人口減少が進む地方に移住し、地域力の維持・強化を目指す活動を行う「地域おこし協力隊」。都市に住んでいた5人の目に、奥州市はどのように映ったのでしょうか。

協力隊の5人が集結

―これまでの活動をご紹介ください。

藤野浩太 カヌーの普及活動をしてきました。胆沢ダム周辺でカヌー教室を始めて3年目になります。小学生から70歳代までと幅広い人に参加してもらっています。その他市内での体験会や、ジャパンカップでは準備のほか選手として参加し、大会を盛り上げてきました。

小川ちひろ 私たちのプロジェクトのメインは観光ですが、団体旅行などのツアー化されたものではなく、本当にここで暮らしたからこそ見える魅力を、私たち移住者の目線から情報発信しています。一例を挙げると、台湾に行き、南部鉄器の魅力を伝えたり、リトルフォレストの漫画の舞台ということを紹介したりしました。また、正法寺で奥州をイメージした曲のピアノコンサートを開催しました。

陳平芸 台湾向けコーディネーターとして、大きく分けて二つのことをしてきました。一つは奥州の人に向けて台湾の文化を紹介すること。もう一つは、台湾で奥州をPRすることです。アーティストの交流や、市内企業が台湾に進出するためのコーディネートなどをしました。今年はコロナで台湾に行けなかったので、SNSでの活動が中心になりました。

髙橋史江 奥州市の食と農をテーマに、訪れた先々で見聞きしたことなどをSNSで情報発信しています。また昨年は、市が進める6次産業化推進事業の一環で、銀座のアンテナショップでの販売などもしました。姉体でお借りしている畑では野菜を育てていて、若い世代に収穫作業などを体験してもらっています。

佐藤幸治 市内の農畜産物のPRや、6次産業化に取り組む人のサポートをしています。自分自身も、市産食材を使用した加工品作りをやっています。